

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 外国語活動部会

1 提案テーマ 『コミュニケーション能力の素地を養う授業づくり』

2 単元(題材) 「友だちにインタビューしよう」 What do you like?

3 学年 第5学年

4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ①積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する学習指導、評価及び教材・教具の工夫
- ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさや大切さを感じさせる指導・評価の工夫
 - ・外国語を積極的に伝え合う態度を育てる教材・教具の開発や工夫

5 学習指導要領との関連

第4章 外国語活動 第2 内容 [第5学年及び第6学年]

- 1 (1)外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- (2)積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。

6 実践に向けての課題意識

4月当初は、言葉を大切にしない、自分の感情をコントロールできない、友だちの感情を受け入れることが苦手といった雰囲気が教室に充満していた。外国語活動の目標でもある、コミュニケーション能力の素地を養うことや、他者理解、自尊感情の醸成などが学級経営においても求められていた。そこで学級経営につながる外国語活動として題材や教材を工夫することにより、クラス担任にしかできない外国語活動の授業をめざした。

7 実践の概要

○指導方法の工夫

- ・形態の工夫(先生対児童一人一人、児童代表対児童、グループ活動、先生対児童全員)
- ・既習の学習内容を使ってクラスへの思いを表現することで、学級経営につながる授業を目指した。
- ・担任も児童も、できる限り英語とジェスチャーでコミュニケーションを図った。
- ・時には未習の単語も提示し、コミュニケーション能力の素地として必要な「類推する力」の育成を図った。

8 成果と課題

【成果】

- ・外国語を使って、なんとか話そうとしたり、受けとめようとしていた態度がたくさん見られるようになり、未知な単語に対しても類推しながら活動を楽しめるようになった。
- ・クラスへの思いを英語で表現する活動では、クラスへの熱い思いが続出し、それをみんなで見合い共有することによって、外国語で表現することやクラスの友だちの個性への気づきにつながった。
- ・長期的な計画で取り組んだ英語の歌は、クラス全員で予想以上の達成感をあじわうことができた。
- ・振り返りシートを使用したことで、様々な児童の気づきや成長を知ることができた。

【課題】

- ・児童たちの予想以上の思いに、授業中に英語で返せない場面が多々あった。ティーチャーズトーク(英語口述)を用意し、児童のさらなる興味を喚起したい。
- ・振り返りシートを見てみると、教師の目から見て頑張っている児童ほど、自己評価が厳しい結果となっていた。子どもが振り返りやすく、書きやすいシートのさらなる工夫、また、評価方法については改善の余地があると思われる。

9 予想される協議の柱

- ・学習意欲を高める外国語活動の授業について
- ・評価方法